

# 良品計画グループ<sup>®</sup>

## パーム油の調達ガイドライン

バージョン： 1.0

発効日： 2025 年 12 月

管理者： ESG 経営推進部門、生産管理部門

### 目次

1. 目的 .....	2
2. 適用範囲 .....	2
3. 調達指針 .....	2
パーム油の調達における目標： .....	2
4. 行動指針 .....	2
4-1 原材料の責任ある調達 .....	2
4-2 ステークホルダーエンゲージメント .....	2
4-3 適切な情報開示と透明性の確保 .....	3
5. 本ガイドラインの改定について .....	3

## 1. 目的

本ガイドラインは、パーム油の持続可能な調達にむけて、「良品計画グループ 責任ある原材料調達指針」に準拠するとともに、その補完を目的としています。良品計画グループの従業員は、本ガイドラインの内容を適切に理解し、パーム油の持続可能な調達を目指します。

## 2. 適用範囲

本ガイドラインは、無印良品の生活雑貨、衣服・雑貨の商品に使用されるパーム油およびパーム核油（以下、あわせて「パーム油」という）を対象としています。

## 3. 調達指針

良品計画グループは以下の目標に向けて、地球環境、生産者や地域への影響に配慮したパーム油の調達を目指します。

### パーム油の調達における目標：

- 1) 森林破壊ゼロ
  - 高い保全価値（HCV: High Conservation Value）<sup>1</sup>を有する森林の開発禁止
  - 高炭素ストック森林（HCSF: High Carbon Stock Forest）<sup>2</sup>の開発禁止
  - 新規植え付けや、既存のプランテーションの再植え付けに伴う火入れ禁止
- 2) 泥炭地<sup>3</sup>破壊ゼロ
  - 泥炭地の新たな開発禁止
- 3) 摳取ゼロ
  - 先住民、地域住民および労働者の搾取がないこと

## 4. 行動指針

### 4-1 原材料の責任ある調達

良品計画グループは持続可能なパーム油の調達を行うため、「良品計画グループ 責任ある原材料調達指針」の行動指針に従い、サプライチェーンにおける人権および環境リスクの影響を特定・評価し、リスクを防止・軽減するためのデューディリジェンス・プロセスを構築します。

### 4-2 ステークホルダーエンゲージメント

良品計画グループは、「良品計画グループ 責任ある原材料調達指針」の行動指針に従い、ステークホルダーとの対話

<sup>1</sup> 高い保全価値（HCV）とは、生物多様性、水資源、文化的価値など、保全上重要な価値を持つ森林として、High Conservation Value Resource Network（HCVRN）によって定義されている地域を指します。

<sup>2</sup> 高炭素ストック森林（HCSF: High Carbon Stock Forest）とは、大量の炭素を蓄積しており、気候変動の緩和において重要な役割を果たす森林として、High Carbon Stock Approach（HCSA）Networkによって定義されている地域です。

<sup>3</sup> 泥炭地とは、地中に炭素を大量に固定しているため、開発によって大量の温室効果ガスが大気中に排出される事になります。

を重視し、パーム油の調達に関する共通の理解と協力を深めます。

#### **4-3 適切な情報開示と透明性の確保**

良品計画グループは、国際的なサステナビリティ情報開示基準に沿って原材料調達に関する取り組み等を定期的に開示し、透明性の確保に努めます。また、原材料の調達に関する表示内容や広告表現について、その正当性を証明できるよう情報の管理を行います。

### **5. 本ガイドラインの改定について**

本ガイドラインは、社会情勢の変化やデュー・ディリジェンスの結果等に応じて適宜見直し、改定を行うことがあります。